

2019年1月28日

新型 Audi RS 4 Avant を発売

- Audi Sport が開発を手がけた Audi A4 シリーズのトップモデル
- 新開発の 2.9ℓV6 ツインターボエンジンは、最高出力 450PS、最大トルク 600Nm を発揮
- マトリクス LED ヘッドライト、アシスタンスパッケージなどの先進安全装備も充実
- 2013 年以来 6 年ぶりのフルモデルチェンジ

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、Audi A4 シリーズの頂点に位置し、ステーションワゴンモデルの Avant（アバント）をベースに、スポーティネスとラグジュアリー性を極めて高いレベルで両立するモデル Audi RS 4 Avant をフルモデルチェンジ。本日より全国の Audi Sport 店（32 店舗、現時点）及びアウディ正規ディーラー（126 店舗、現時点）を通じて発売いたします。

Audi RS 4 Avant は、Audi R8 や Audi RS 6 など、アウディのハイエンドスポーツモデルの開発拠点である Audi Sport GmbH が手がけた Audi A4 シリーズのトップモデルです。

パワートレインは最高出力 331kW(450PS)、最大トルク 600Nm を発揮する新開発の 2.9ℓV6 ツインターボエンジンを搭載します。従来型の 4.2ℓV8 DOHC に比べ、最高出力は同じながらも最大トルクは 170Nm 増強。8 速ティプトロニックトランスミッションと quattro フルタイム 4WD システムを組み合わせ、さらにリアアクスルには左右の駆動力配分を最適化するスポーツディファレンシャルを装備することにより大パワーを確実に路面に伝達し、優れた高速安定性と操縦安定性を実現します。0-100km/h 加速はわずか 4.1 秒。その一方で、アウディ独自のエンジン燃焼方式である B サイクルを採用したことで、燃費は 11.2km/ℓ（JC08 モード）と従来型よりも大幅な省燃費を実現しています。

エクステリアデザインは、かつて北米のモータースポーツシーンを賑わせた Audi 90 quattro IMSA GTO からインスピレーションを得たものです。RS モデル専用のシングルフレームグリルや大型のエアインレット、さらに専用の前後バンパー、リヤディフューザーを採用することで、スポーティさを強調しています。伝説のマシン Audi quattro を彷彿とさせるプリスターフェンダーも Audi RS 4 Avant の特徴で、標準モデルの Audi A4 Avant に比べて全幅は 25mm 拡大しています。

インテリアは水平基調のデザインで、ファインナッパレザーの S スポーツシートをはじめ、フラットボトム RS 革巻きマルチファンクション スポーツステアリングホイール、RS 専用のシフトゲート、イルミネーション付きドアシルトリムなどを採用し、スポーティかつエレガントなものです。メーターパネルには、12.3 インチの TFT（液晶）ディスプレイにスピードメーターやタコメーターだけでなく、ナビゲーションシステムをはじめ、G フォース、トルク値などの情報も表示できるアウディバーチャルコックピットを標準装備。Audi connect は、インターネットと常時接続することで、ニュース、天気予報、駐車場検索、空港のフライトインフォメーション、ガソリンスタンドを距離順や価格順に表示する等の情報提供を行います。また 24 時間 365 日、専任オペレーターを介して施設検索や予約手配が可能なコンシェルジュサービスである Audi connect Navigator も利用できます。また、アウディ プレセンスシティ（歩行者検知機能付自動ブレーキ）をはじめとする数々の最新安全技術とアシスタンスシステムも搭載しています。

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格（税込）
Audi RS 4 Avant	2.9 ℓV 型 6 気筒 DOHC ターボチャージャー 450PS/600Nm	8 速 ティプトロニック	quattro	左/右	11,960,000 円

